

と中高年向けのセミナーを市で開催する予定。

職員への制服支給

福村光泰議員

問 クールビズ実施中に「ふじみんシャツ」を統一した事務服として支給しては。

答 全職員に支給するのは難しい。

問 窓口の担当職員だけでも支給しては。

答 他市の状況を調査する中で検討する。

事業系ごみ収集の実態把握を

塚越洋一議員

問 事業系ごみの実態把握は。

答 許可事業だが、統括責任は市にある。許可業者だけでなく、排出事業者も含め現場状況を十分踏まえ施策展開していきたい。

集団資源回収

西和彦議員

問 実施方法の改善に伴うアンケート調査を7

月に実施したが、その内容と今後の事業の方向性については。

答 「雑がみ」や「布類」を新たに対象品目に加

思いやりのまちづくり

：福祉

公共施設建設に障がい者の意見を

山田敏夫議員

問 公共施設の建設にあたって、事前に障がい者の意見を聞いてはどうか。

答 予定している本庁舎増築耐震補強工事など、今後も障がい者団体の意見を聞いて可能な限り工事に反映していきたい。

あったかい高齢者対策を

岸川彌生議員

問 結婚50年を迎える高齢者ご夫婦への祝意として、金婚式の実施ができないか。

えることや、回収場所として家庭ごみ集積所利用の希望などを聞いた。今後も、貴重な資源物をより多く集め、焼却量の

削減並びに地球温暖化対策の一助になるよう事業展開をしていく。

答 祝意を表すことは極めて大切なことと認識している。会場や交通手段、社会的情勢を考慮して研究する。

精神障がい者の地域生活支援を

塚越洋一議員

問 精神障がい者の通所施設「ライトハウス」の継続と充実に市として必要な支援を。

答 事業者と話し合っ、できるだけ早く運営を安定させるよう支援する。

健康マイレージ制度の実施を

伊藤美枝子議員

問 他市で行っている

「健康マイレージ制度」とは、健診や健康に関する事業や介護予防事業への参加でポイントを集め、公共施設の利用券や民間のサービス券、食事券と交換できる制度。本市でも実施を。

答 財源の問題を含め様々な分野と連携・協議が必要。今後先進事例を参考に調査研究する。

：健康

ホームスタート事業の進捗は

伊藤美枝子議員

問 何らかの理由で家庭から出ることができない親子への訪問型子育て支援「ホームスタート事業」の進捗は。

答 平成25年11月より子

育て支援センター事業の中で実施したい。

子育てサロンの拡充を

伊藤美枝子議員

問 駒西放課後児童クラブで行われた出前子育てサロンに、113人の参加があった。この地域での設置が必要では。

答 施設がない地域もある。放課後児童クラブを利用した子育てサロンの拡充を検討する。

理的に不便。駐車場の設置でさらに利用も増える。小学校の駐車場に空きスペースがあるが利用は。

公立保育所の今後

伊藤初美議員

問 公開事業評価で、公立保育所の市による管理運営は不要と出たが、市はどう対応していくのか。

答 評価結果は尊重するが、民間も含めた認可保



東台放課後児童クラブ

みんなの健康を守る

：健康

認知症状の早期発見を

小林憲人議員

問 認知症状を早期発見できれば、発症を遅らせ重篤化を防ぐことも可能。認知機能低下を早期発見するスクリーニングテストを導入すべきでは。

発育発達支援の拠点

田村法子議員

問 フクトピアのデイサービス移転後、施設を発育発達支援の拠点にしてはどうか。

答 療育ネットワーク会議の中で、発達支援の拠点づくりの検討を行っている。フクトピアの利

問 所得が低い人ほど負担が重くなる保険料の逆進性解消のための具体策は。

介護保険の改善を

塚越洋一議員

問 可能な限り、保険料負担の公平性に配慮した保険料改定に取り組んでいく。

問 地域包括支援センターの体制強化しては

問 業務量に見合った適正な職員配置を行うなど、機能の充実に取り組んでいく。

国保広域化の対応

鈴木啓太郎議員

問 社会保障制度改革国民会議の最終報告が提出され、国保は市町村が保

答 国では平成29年度を目途に、国保の財政上の問題を解決した上で財政運営の主体を県に移

問 地域の部活動指導者には謝金の予算をとつ

問 国保の財政上の問題を解決した上で財政運営の主体を県に移

問 生活保護扶助費の引き下げの影響を避ける